



富士見市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うさみん

福祉 つるま

鶴瀬中央地区社会福祉協議会

発行人 会長 松本美信 編集 広報部会
問合せ 富士見市社会福祉協議会 TEL 254-0747

令和5年度 敬老事業実施

本年度も鶴瀬中央地区社会福祉協議会（以下 鶴瀬中央地区社協）の福祉委員の手によって富士見市の『敬老事業』が実施されました。

この事業は、市の補助金をもとに鶴瀬中央地区社協の資金を上乗せして実施しているものです。

実施方法としては、節目年齢（77歳、88歳、99歳）を迎えられた方々のお住まいを福祉委員が訪問し、お祝い品（補助金と対象者数を勘案して四千円のお買い物券）をお配りしました。

本年度の鶴瀬中央地区社協内の対象となられた節目年齢の方は、155名（下表参照）でした。

日本の高齢化が急速に進んでいます。長寿社会の到来自体は、まことに喜ばしいことではありますが、日本各地の市町村で財政事情から敬老事業を縮小・廃

止する事例が起きています。富士見市においても『敬老事業』のあり方が岐路に立っているのは事実です。しかし、「お年寄り

令和5年度 鶴瀬中央地区社協内における敬老事業対象者人数

資料：富士見市役所【令和5年6月1日現在データ】

町会名	77歳以上	外国人	計	節目年齢			
				77歳	88歳	99歳	計
羽沢二丁目町会	188	0	188	12	6	0	18
上沢一丁目町会	438	0	438	26	19	0	45
上沢二丁目町会	177	0	177	14	10	0	24
鶴瀬東一丁目町会	145	0	145	14	4	0	18
鶴瀬東二丁目北町会	201	0	201	11	10	0	21
鶴瀬東二丁目南町会	234	0	234	15	13	1	29
地区社協合計	1,383	0	1,383	92	62	1	155
富士見市全体	13,023	21	13,044	936	515	20	1,471

今後の富士見市社会福祉協議会の活動

を敬う」と言う原点に戻れば、祝い品の有無に関わらず、地域にお住まいの皆さまがご長寿で日々お過ごしになることの一助となることを目指して、鶴瀬中央地区社協では、今後も地域のさらなる福祉向上に努めてまいります。

小さなお子様からお年寄りまで、安心して幸せな日々を送ることができる地域を保つことが、私たち福祉委員の願いです。

①「令和5年度あいサポートイベント」
令和5年12月9日（土）
13時30分～

三芳町藤久保公民館ホール
②「富士見市社会福祉大会」
令和6年2月23日（金・祝）
（予定）14時～

鶴瀬コミュニティセンター
ホール

読者からの寄稿

白寿を迎えてたあやかに

鶴瀬東二丁目南町会

成田 榮彦 えいこ

この度は敬老の日のお祝いをいただきありがとうございます。あつという間に99歳です。

月日の流れが早く感じられるのです。昭和30年、東京中野よりここ富士見市に越して参りました。その当時は電車の本数も少なく、道のりも悪く苦勞しました。仕事も頑張っていました。数十年経て、キレイになった街並みを見るにつれ、過ぎ行く事が沢山あったなと思ひ出されます。

今もゆつくりではありませんが歩いて用事を済ませていきます。その際に必ず「転ばないように気を付ける、気を付ける」と口に出して言います。心掛けていると安心です。

自分の事は自分でするように

しています。食事は家族と同じものを同じようにいただいています。固いものも食べます。フランスパンも時々いただきます。

私は元より偏食が無く、美味しい物をそのまま食べていられるのが幸いしているのだと思います。性格的な部分もあります。

怒らないようにしています。趣味はお花を植える事です。演劇観賞も好きで外出制限が出る以前は、新橋演舞場まで観劇をしに行つたものでした。最近足が遠のいています。又観てみたいものです。

来年の春、色とりどりに咲いた花を家族と一緒に観たいと願つております。

喜寿を迎えて

鶴瀬東一丁目町会

松原 良昭

このたび私どもの喜寿に際し、お心のこもるお祝いをいただき

ありがとうございます。

喜寿のお祝いにいただいたお買物券は、大切にに使わせていただきます。

今日まで、これといった大病もせず無事に喜寿を迎えることができたのも、ひとえに皆様のおかげと心より感謝いたしております。

皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。いつまでもお元気で、そしてお体を大切にどうか、ご長寿でおられますことを心からお祈りいたします。

今年は私も

上沢一丁目町会

仲野谷千代恵

今までは、敬老会のお祝いをお届けしていましたが、今回は自分もお祝いをいただくことになりました。余り意識していませんでしたが、「私もそういう年になったんだなあ」と、つくづく思いました。その間の

時間は何をしていたのでしょうか。

これから先は長くないと思いいく時を考えておかなくてはいいないのでしようと、自分に言い聞かせて行動するようにしたいと思います。10月は寒暖の差がはげしいので、風邪には気を付けて下さい。

敬老会のお祝い

上沢二丁目町会

(I S) 男性

お祝いありがとうございます。喜んで使わせて戴きます。健康には気をつけて長生きして楽しい人生を過ごして行きたいと思ひます。



赤い羽根共同募金 街頭活動を実施

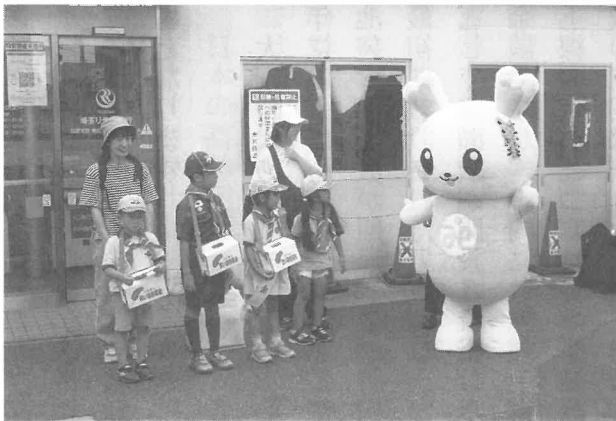
鶴瀬東一丁目町会

島田 清

10月2日(月)夕方4時から鶴瀬東口にて、鶴瀬中央地区社会福祉協議会常任委員と少年少女ボーイスカウトのみなさんと、今回は社協のマスコットキャラクター「うさみん」も参加しての「赤い羽根共同募金」の街頭活動を実施いたしました。

駅を利用される方、通勤通学帰りのお忙しいところ、募金へのご協力を頂き、改めてお礼を申し上げます。

共同募金活動は、戸別募金・学校・職場等いろいろなところで行なわれています。その中で街頭募金は小さいものであるが、場所・時間を分担しており、これからも社会福祉・災害支援などに役立つ募金として、皆様のご協力をお願い申し上げます。



高齢者部会からのお知らせ

令和5年度は、おおむね80歳以上の方を対象に「茶話会」と「交流会」を1回ずつ実施することになりました。

茶話会は、下記の通り10月と11月に各町会で実施しました。

交流会は、令和6年の2月と3月に町会ごとに実施する予定となっております。

町会名	開催日	時間	会場名
鶴瀬東一丁目	10月8日(日)	午前10時30分	都市計画事務所
	内容：懇親会		
鶴瀬東二丁目南	11月9日(木)	午前10時	谷津西公民館
	内容：南京玉すだれ		
鶴瀬東二丁目北	10月11日(水)	午前10時	鶴瀬東二丁目集会所
	内容：これからも元気に過ごすため(健康増進センター)		
羽沢二丁目	10月18日(水)	午前10時	羽沢二丁目集会所
	内容：包括支援センター「むさしの」の話と歌と講談		
上沢一丁目	11月17日(金)	午前10時	上沢一丁目集会所
	内容：みんなで楽しく歌おう		
上沢二丁目	11月8日(水)	午前11時	上沢二丁目集会所
	内容：社協職員による「介護保険」の説明		

「つるま」の歴史

東二丁目北 酒本 孝

「つるま」は、この広報紙の表題にも使われていますが、戦国時代の一五五九(永禄二)年に編集された「北条氏所領役帳」で武蔵国入間郡の郷(村)名として「鶴間」の表記が初めて出て来ます。

その後、時代が流れて江戸時代になると、同一名「鶴間」の郷が、今の相模国にもあることが明らかとなり、一八三〇(文政一三)年に完成した「新編武蔵風土記稿」では、表記が「鶴馬」に変更になっています。因みに「鶴間」は神奈川県大和市と東京都町田市に地名として残っています。

明治時代になって廃藩置県の後には、明治の大合併が行われ

ます。一八八九(明治二二)年には、鶴馬村と勝瀬村が合併して、旧村の一字ずつを取り鶴瀬村となります。

大正時代の一九一四(大正三)年には、当時の東上鉄道として池袋―田面沢が開通。この時、最初に敷設された九駅のひとつとして鶴瀬駅が開設されました。余談ですが、市内には現在、東上線の駅が三つ有り、みずほ台駅の開業は一九七七(昭和五二)年、ふじみ野駅は一九九三(平成五)年開業ですから、鶴瀬駅は、長い間富士見市の鉄道の玄関口としての役目を担っている駅です。

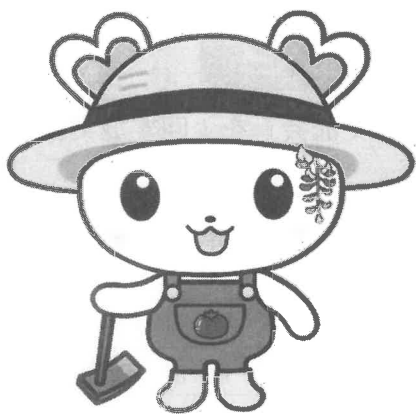
鶴瀬中央地区社会福祉協議会は、富士見市社会福祉協議会の地区社協として一九八三(昭和五八)年に設置されています。

その担当する区域内には、現在地に移転する前の市役所、鶴

馬村当時から役場が、かつて有ったことに加え、鶴瀬駅、鶴瀬小学校が所在することから、地区社会福祉協議会の名称を、鶴瀬中央とし、その広報紙も「福祉つるま」と題しています。

武蔵国入間郡鶴間郷の頃から、先人たちも「住み慣れた街で安心して生活すること」を目指していたと推察します。

「福祉つるま」は、二〇二四年(令和六)年四月には、その発行が一〇六号を数えます。



編集室だより

東二丁目北 酒本 孝

「福祉つるま」は、鶴瀬中央地区社会福祉協議会の広報紙です。その発行の目的は、鶴瀬小学校区にお住まいのみなさんと鶴瀬中央地区社会福祉協議会の関係を深める役割を担っています。

地区社会福祉協議会は、地域住民が中心となって、その地域に即した福祉課題を見つけ、その解決に向けて取り組むことができるよう、町会をはじめとする地域の団体、学校、企業、商店などと協力しながら、福祉活動を進めていくことを目的としています。

今年の春には、このところ「福祉つるま」は広報紙の体を成していないとのお叱りの言葉を戴きました。私たち広報部会では、住み慣れた街で安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざして、その広報活動を行ってまいります。